

タイトル：2021年度 教育セミナー（第17回）

日時：2021年9月16日（木）～19日（日）

オンライン開催

木村 寛太（東京外国語大学大学院総合国際学研究所）

この度は多数の先生方、研究者の皆様が参加されている教育セミナーに参加し非常に有意義な時間を過ごすことができました。また新型コロナウイルスの感染が未だ収まらない中においても ZOOM を用いたオンラインでの開催を準備し無事に実行して下さった運営事務局の皆様にもお礼申し上げます。ありがとうございました。

私自身、大学院生や研究者の先生方が集う催しに参加することは初めてであったため大変緊張していましたが登壇者の皆様のお話は大変興味深く、自分の専門分野と直接的には重ならない話題であったとしても研究の手法や問題意識などの面で参考になることが多かったです。特に私と同年代の大学院生の方がポスター発表を立派にやり遂げていることは大きな刺激になりましたし、今後の自分自身の研究意欲や向上心にも多大な好影響を与えてくれることになるだろうと思います。

セミナー全体を通して個人的に最も印象に残ったのは各発表後の質疑応答の部分でした。学部から大学院に進学したばかりの私は学術的な質疑応答や議論を生で見たことがありませんでした。今回のセミナーにて研究者の先生方同士で交わされる高度なやり取りを拝見することができたことは非常にありがたい経験となりました。話についていくことで精一杯で自ら手を挙げて質問することにまで至ることができなかつたことは心残りですが今後このような場に参加するときには積極的な発言ができるように自分自身を高めていきたいと思っています。

中東やイスラームというキーワードは近年さらにその重大性を増しているように思われます。しかしながらまだまだその正しい理解が一般に浸透しているかという点必ずしもそうではないという現実もあるかと思われます。中東やイスラームに関することを専門分野とするからには世間の誤解に対しても真摯に向き合い誠意をもって応対できるような研究者を目指していきたいと私は考えています。今回の教育セミナーにて最先端の研究に触れたことは中東やイスラームに対する私自身の理解をさらに深めてくれました。ここで得られた経験は今後の研究生活に活かすだけでなく、是非とも周囲にも還元していきたいと思っています。

結びになりますがこのような“場”を設けて下さった関係者の皆様、ならびに貴重なお話を聞かせて下さった登壇者、すべての参加者の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。